



## お知らせ

記者発表資料 配布日	平成27年 9月15日
---------------	-------------

■同時発表先：岡山県政記者クラブ  
岡山市記者クラブ

## 百間川の治水施設群が 平成27年度選奨土木遺産に認定されました。

### ～岡山市街地を守り、今なお残る治水施設群～

土木学会全国大会開催前に、「百間川の治水施設群」が9月11日開催の土木学会理事会において、平成27年度選奨土木遺産として認定されました。百間川の治水施設群は「分水部から河口部まで、旭川の放水路として江戸期に築造された百間川の一連の治水システムが現存している貴重な土木遺産」であり、旭川と百間川の分流部にある一の荒手と二の荒手、米田地区の旧堤防、百間川河口左岸の大水尾（おおみお）の旧堤防が含まれています。

#### ※選奨土木遺産とは

土木学会では橋梁、トンネル、ダム、防波堤、発電所、灯台など私たちの生活を支えている土木構造物のうち、築堤後50年以上が経過し、技術的にも歴史的にも価値のあるものを土木遺産と呼んでいます。これらの土木遺産の中から毎年全国で「選奨土木遺産」が認定されています。

中国地方では、平成27年で31件の登録があり、岡山県では7件目です。

#### <問い合わせ先>

国土交通省 中国地方整備局 岡山河川事務所  
TEL (086) 223-5187 (調査設計課)  
FAX (086) 234-2298

#### 【担当】

副所長（技術） かわしま 川島 あきまさ 明昌（内線205）

調査設計課長 ちの 千野 たかひこ 貴彦（内線351）

# ひやっけん がわ ち すい し せつ ぐん 百間川治水施設群

岡山県岡山市

選奨土木遺産 平成27年度認定

## 岡山市街地を守り、今なお残る 治水施設群

ここがスゴイ!

先人の知恵を後世へ継承し、歴史的遺構を保全・活用

岡山市街から北東へ4kmほど行ったところに、岡山県の中心を南北に流れる旭川と百間川の分流部が見えてくる。百間川は、岡山城下の洪水被害を軽減するため、江戸時代に築造された放水路で、所々に現存する治水施設を見ることができる。



1 いちのあらて  
一の荒手改築イメージ



2



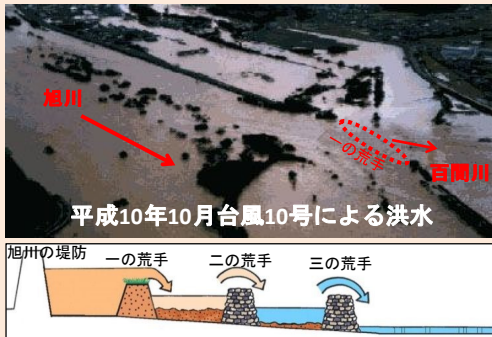
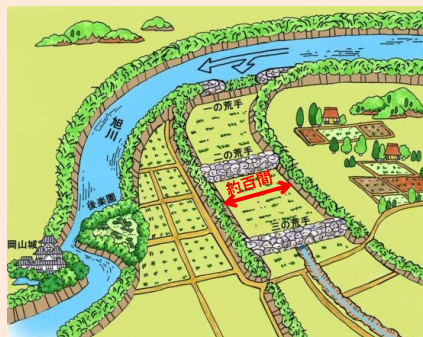
3

2 上流巻石部 (亀の甲)

3 下流巻石部 (亀の甲)

### 岡山城下と洪水対策

岡山城は、旭川を堀として利用したため、水衝部の石間町付近は出水の際、激流に見舞われ、時として大きな被害も出ました。池田光政が藩主として入国した寛永9年(1632)以降、承応3年(1654)に最大の洪水被害に見舞われ、これを受けて計画されたのが百間川です。百間川は旭川左岸に設けられた荒手堤から児島湾に放流する水路で、これによって洪水時の旭川を分流させようという構想で、「三段方式の荒手」を設けています。これは、分流した百間川の水の流速を緩めると共に、流水が運ぶ土砂をそこに沈殿させる効果と考えたものです。百間川には普段はあまり水が流れておらず、いざという時には放水路として大河となります。その名称は「二の荒手」幅が百間(約180m)あることに由来します。なお、三の荒手は明治25年洪水により流出したため、現存しません。



貞享の築造時の分流部周辺イメージ



4



5

4 にのあらて  
二の荒手改築イメージ

5 二の荒手近景



6

6 米田地区に現存する旧堤防と陸間跡



7

7 百間川河口大水尾(遊水池)の現状

### 「治水と開発」の両立を実現した土木技術

百間川の構想は城下の洪水回避が大きな目的であったが、洪水の流路を確保するための築堤の直接の契機は沖新田の開発であった。当時、岡山藩に仕え、様々な功績を残した津田永忠はこの発想を転換して「治水と開発」の両立という構想を立て、その実現のための工夫をしました。それが「大水尾(遊水池)」と「樋門」の結合という方法です。これは、川の河口部に樋門群を設けて、その内側に「大水尾(遊水池)」を造り、満潮の時は樋門を閉め、川水は遊水池に滞留させ、干潮を待って樋門を開き滞留した水を放流するという方法です。現在も、大水尾の旧堤防の一部が左岸側に残っています。当時の石製の樋門は河口水門の工事に伴い撤去されましたが、その一部を利用して当時の樋門の再現モチーフを河口水門の中心で見ることができます。

#### 遺産概要

所在地: 岡山県岡山市中区今在家外

- 構 造: 一の荒手(空石積み)  
二の荒手(空石張り)  
陸間跡(コンクリート構造物)  
大水尾旧堤防(土堤)
- 規 模: 一の荒手(幅約140m)  
二の荒手(幅約180m)  
陸間跡(1箇所)  
大水尾旧堤防(延長約500m)
- 完成年: 一の荒手(江戸時代)  
二の荒手(江戸時代)  
陸間跡(昭和)  
大水尾旧堤防(江戸時代)




























## 土木学会選奨土木遺産

index 2000 2001 2002 2003 2004 2005 2006 2007  
2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015

### ▼ 平成27年度の選奨土木遺産

 <p>北海道/石狩市 茨戸川の岡崎式単床ブロック護岸</p>	 <p>北海道/旭川市 旧函館本線神居古潭トンネル群</p>	 <p>東京都/あきる野市 東秋留橋</p>	 <p>新潟県/佐渡市相川大間町 大間港</p>
 <p>栃木県/足利市 足利市近代水道施設群</p>	 <p>神奈川県/横浜市中区 元町・山手地区の震災復興施設群</p>	 <p>茨城県/つくば市 筑波山ケーブルカー</p>	 <p>群馬県/富岡市～下仁田町 旧上野鉄道鬼ヶ沢橋梁</p>
 <p>千葉県/銚子市 飯沼水準原標石</p>	 <p>長野県/駒ヶ根市中沢 南向発電所取水堰堤</p>	 <p>愛知県/名古屋市守山区瀬古 庄内用水元杖樋門</p>	 <p>長野県/塩尻市北小野 蔵造川水路橋</p>
 <p>京都府/舞鶴市・宮津市 由良川橋りょう</p>	 <p>京都府/京都市左京区 市原人道橋 / (旧)市原橋</p>	 <p>広島県/福山市 別所砂留</p>	 <p>岡山県/岡山市 百間川の治水施設群一ノ荒手、二ノ荒手、米田の旧堤防、大水尾の旧堤</p>
 <p>島根県/奥出雲町 三成ダム</p>	 <p>香川県/木田郡三木町平木～三木町鹿伏 新川橋梁</p>	 <p>熊本県/南阿蘇村 第一白川橋梁</p>	 <p>熊本県/南阿蘇村 立野橋梁</p>
 <p>宮崎県/延岡市川中 五ヶ瀬川壘堤</p>			



## 土木学会選奨土木遺産

[トップページに戻る](#)

[<< prev. 一覧リストに戻る next >>](#)

### 百間川の治水施設群一ノ荒手、二ノ荒手、米田の旧堤防、大水尾の旧堤

ひゃっけんがわのちすいしせつぐん一いちのあらて、にのあらて、よねだのきゆうていぼう、おおみおのきゆうてい  
岡山県/岡山市



百間川の治水施設群は「分水部から河口部まで、旭川の放水路として江戸期に築造された百間川の一連の治水システムが現存している貴重な土木遺産」であります。

竣工年：1687(貞享4)年(一ノ荒手、二ノ荒手)、1687(貞享4)年以降(米田の旧堤防)、1692(元禄5)年以前(大水尾の旧堤)

平成27年度選奨土木遺産

[<< prev. 一覧リストに戻る next >>](#)

[ツイート](#)

© Japan Society of Civil Engineers